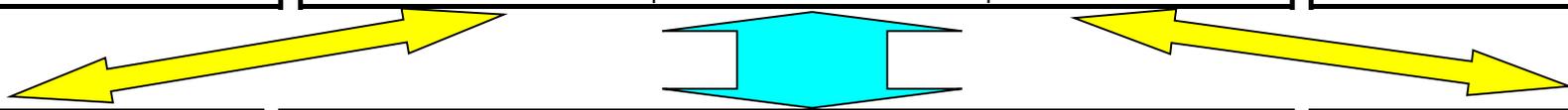


平成29年度 学力向上アクションプラン

B票

尼崎市立七松小 学校

学力調査結果等から見た 学力向上についての課題	課題解決に向けた学校の取組(基礎力の定着、活用力の育成)			本年度の具体的な目標
	授業力向上への取組	学習習慣定着に向けた取組	その他の取組	
<p>○全国調査の結果から見られる課題 (1) 各教科の状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国語では、話の内容に対する聞き方を工夫する力、目的や意図に応じて書く事柄を整理する力に課題がある。 ・算数では、記述式の問題で自分の考えを数学的に表現する力に課題がある。 <p>(2) 質問紙調査</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている」の項目で、全国平均を下回っている。 ・1日あたりの読書の時間が10分未満の児童が40.5%いる。 ・平日の学習時間に差がある。 	<p>○研究授業で講師を招聘し、客観的な指導助言を受け、より一層資質向上に努める。 (1. 講師招聘支援を活用)</p> <p>○先進校を視察し、校内の教員の授業力向上に努める。</p> <p>○児童が「学び合う」授業の構築</p> <p>○授業改善アドバイザーによる若手教員への指導</p> <p>○校内研究に基づく共通の学習スタイル「七松スタイル」の実施(授業の中でめあて・ねらいを示すことも含めて。)</p>	<p>○朝の学習タイムでは黙って読書をするを大切に、読書に慣れ親しむ児童の育成に努める。</p> <p>○チャレンジタイム(掃除後の帯時間)を使って、主に算数の基礎基本の力を定着させるように全校でプリント学習に取り組む。 (5. 学力定着支援を活用)</p> <p>○学習習慣をつけるため、家庭と連携し、スタディプランを活用する。 (5. 学力定着支援を活用)</p> <p>○放課後学習で、基礎基本の力を定着させる。 (4. 放課後等学習支援)</p> <p>○学校図書館を有効活用し、読書力の向上を図る。</p>	<p>○全学年、国語と算数のCDTテストを実施し、経年比較及び次年度の課題を明確にする。</p> <p>○学期に1回、理科朝会を実施し理科に対する児童の興味関心を高める。 (5. 学力定着支援を活用)</p> <p>○読書量の増加と、言語活動への意欲向上のためにボランティアによる読み聞かせを実施する。 (6. 地域人材活用支援)</p> <p>○学期1回の音読集会、及びノート検定を実施する。</p>	<p>○全国学力学習状況調査 (1) 学力調査</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題解決学習に取り組ませ、自分の考えを表現する力をのばす。 ・チャレンジタイムで計算の基礎基本の力を養い、さらに活用力ものばす。 <p>(2) 質問紙調査</p> <ul style="list-style-type: none"> ・友達の前で自分の考えや意見を発表する場を増やし苦手意識を減らし、自分の考えを深めたり、広げたりできるようにさせる。 ・朝読書の定着、学級文庫を充実させる等して90%以上の児童が毎日10分以上読書するようにする。 ・家庭と連携し、家庭での学習習慣を確立させる。



校種間連携	活用する支援内容		家庭・地域との連携
	支援内容	具体的内容	
<p>○夏季合同研修会の実施</p> <p>○相互の授業参観、研究協議</p> <p>○入学前テストの実施</p> <p>○中学校生活について生徒会の説明の実施</p>	(1)講師招聘支援	○国語「活きた対話と交流のある授業」 プール学院大学 今宮 准教授 4回	<p>○読書習慣の家庭への啓発による読書力の向上</p> <p>○スタディプランの活用による学習習慣の定着</p> <p>○学力調査結果の公表</p> <p>○学校ホームページの充実</p>
	(3)授業補助支援	○算数の授業において、同室複数授業を実施し、児童の一人思考の学びの支援や主体的、対話的で深い学びを推進する。	
	(4)放課後等学習支援	○放課後週1回、3年生以上に宿題を中心に基礎的な課題に取り組ませ基礎学力の定着を図る。夏期休業中は、基礎基本の定着と高学年には記述を主とする課題にも取り組ませ、活用力の育成を図る。	
	(5)学力定着支援	○理科朝会材料費 ○チャレンジタイム用紙代 ○スタディプラン用紙代	
	(6)地域人材活用支援	○読書への関心意欲を高めるため、図書ボランティアによる図書室の整備、読み聞かせ、大型紙芝居を行う。	
	(7)その他	○外国語活動指導補助員報償費	